

平成17年度教育研究業績書

氏名 永井 一彰

最終学歴	1977年3月大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程単位取得満期退学
取得学位	文学修士
所属学会	日本近世文学会、俳文学会、東海近世文学会、京都俳文学研究会、大阪俳文学研究会、川柳雑俳研究会
現在の専門分野	近世国文学
研究課題	板木をベースとした出版研究、蕪村時代の俳諧、雑俳
<p>【研究上の特記事項】</p> <p>平成16年度に調査のために搬入した京都の古書店竹苞書楼の板木約2,500枚を、図書館特別集書予算で購入し、平成17年度奈良大学研究助成を受けて、整理・調査を行った。その中から蕪村が下絵を描いた狂詩集『勢多唐巴詩』の扉絵の板木、及び狂詩集『太平楽府』の海賊版の板木などが見つかり、17年9月・18年1月にマスコミを通じて発表した。</p>	
<p>【教育上の特記事項】</p> <p>担当科目を通じて、学生に板木・版本・文書などの生の史料に触れさせて講義を進めるように努めた。</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
<p>【社会的活動】</p> <p>俳文学会委員、京都俳文学研究会編集委員、財団法人芭蕉翁顕彰会文学講座「芭蕉五話」講師（2005年5月～9月、計5回）、こおりやま市民大学講師（2005年6月）、高の原カルチャーサロン奈良大学文学講座講師（2005年10月）、加茂町公平委員（委員長）、相楽広域事業組合公平委員</p>	
<p>【学内活動】（学内職歴を含む）</p> <p>総合研究所所長（2003～2005年）、21世紀長期計画基本構想委員会委員（2005年9月～2006年2月）、狂言研究会顧問</p>	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1				
2				
3				
4				
5				
(学術論文)				
1 寛政版七部集の配列	単	2006年3月	『俳文学研究』45号	寛政7年再刻の『俳諧七部集』の配列が、もともとの出版年次を無視した形を採っている理由について考察した。
2 佛光寺の板木－『四鳴蟬』－	単	2006年3月	『奈良大学総合研究所所報』14号	佛光寺に伝わった狂文集『四鳴蟬』の残存板木と、該当書の諸版本及び江戸・大坂の本屋仲間の記録をつき合わせて、版権の移動を辿り、この板木が佛光寺に残る理由を考えた。
3				
4				
5				
(学会発表)				
1 板木のありか	単	2005年11月	平成17年度日本近世文学会秋季大会（於奈良女子大学）	平成11年に京都の印章店から出て来た『奥細道菅菰抄』の板木一枚を手掛かりに、該当書の諸版本及び関係の本屋文書を調査し、『奥細道菅菰抄』の板木の枚数、もともとの板木のありか、板木分割所有の実態、天明の大火で一部が焼失した後の覆刻状況などについて、研究成果を口頭発表した。
2				
3				
4				
5				
(その他)				
1				
2				
3				
4				
5				